

6月19日 朝礼にて 校長講話

今日は、「めざせ夢の9秒台」というお話をします。何のことかということ、日本の陸上競技の100m走の選手の人たちが9秒台をめざしているということです。100m走ってというと、この前、4月に50m走をやったよね。ちょうどその倍です。50m走は、何秒くらいだった。「11秒くらいでした」「9秒いくつくらい」「10秒台だった」「9秒7でした」だいたい4・5・6年生で9秒から10秒くらなのかな。ちょうど倍の距離を競い合って9秒台をめざしています。実は、日本の選手たちは、正式に9秒台を出した人はいません。追い風参考とかいう形で9秒台が出たことはあるんですが、正式に認められる記録として9秒台を出した人はいないんです。もう少しで出せるという人は何人かいて、去年のリオデジャネイロオリンピックに出たケンブリッジ選手とか、桐生選手とか山縣選手とかがすごい近いところにいる、いつ9秒台を出してもおかしくない状態なんです。それぞれ、スタートが得意とか、中盤が得意とか、追い上げが得意とか、それぞれの選手に持ち味があるんだけど、それぞれの持ち味を活かして100分の1秒速く走れるように練習しています。その努力がとてもすごいと思います。みんなも、勉強するときとか、運動するときとかに、何人か同じくらいの人がいると、負けないようにしようと競い合って自分もがんばれます



よね。100m走でも何人かが競い合って、9秒台をめざしている。「めざせ夢の9秒台」今週出るかも知れないし、今月出るかも知れない。夢の記録が出たときには、競い合ってすごく努力していることを思い出してほしいと思います。